

【担当教員名】 川田 邦明	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・栄養・IT・社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

<概要>

太陽系の惑星のひとつである地球で、約40億年前に生命が生まれ、40～50万年前に人類が誕生した。人類は地球の環境に少しずつ影響を与えながら進化してきたが、約200年前ころから多量の石炭・石油を使用し、大気や河川などを汚染し始めた。現在では、人類による環境汚染が原因で、オゾン層の破壊や地球温暖化が進行している。こうした汚染や、食料・木材などの生産に伴う自然破壊は、地球環境と同時に、多様な生命をも脅かしている。地球環境科学では、人類と地球との共生や生命を守ることを目標として、環境問題の歴史や現状、環境を守るための手法、さらに、地球環境と同時に人の健康にも大きなかわりを持つ食料・飲料水について学ぶ。

<学習目標>

- 地球の構成と、生命（生態系）、環境のかかわりについて学ぶ
- 人類と環境、食料、飲料水について学ぶ
- 環境の現状について学ぶ
- 化学物質と環境・生命のかかわりについて学ぶ
- 地球環境問題について学ぶ
- 環境保全について学ぶ
- 環境監視について学ぶ

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	地球・生命・環境		講義
2	地球の構成と生命圏		講義
3	人間と環境・食料		講義
4	水と生命		講義
5	水環境と保全		講義
6	大気環境と保全		講義
7	土壌環境と生態系		講義
8	化学物質と安全管理		講義
9	化学物質のリスク評価		講義
10	環境ホルモン、POPsとダイオキシン		講義
11	地球温暖化		講義
12	オゾン層破壊と酸性雨		講義
13	環境を診る ―環境分析値の信頼性―		講義
14	環境影響評価と環境負荷の低減		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	環境と生命	及川紀久雄ほか	三共出版	2004年・2,625
参考書	知っていますか暮らしの有害物質	及川紀久雄	NHK出版	2000年・1,470
	資源・エネルギーと循環型社会	北野 大ほか	三共出版	2003年・2,310
その他の資料	環境白書	環境省編	(株)ぎょうせい (又は 環境省のホームページ)	

【評価方法】 試験・レポート	【履修上の留意点】 環境に関する問題意識を持って履修することが望ましい。
-------------------	---

全科共通科目 教養